

Q

8

## 被後見人の財産の処分

被後見人が自宅とは別に所有している土地を売却したいのですが、どうしたらよいでしょうか。



A

被後見人の財産（居宅に関するものを除く。Q9参照）の処分は、後見人の責任で行ってかまいません。ただし、被後見人に損害を与えないよう、処分の必要性、他の方法の有無、被後見人の財産の額などを事前に十分に検討してください。

### 【被後見人の財産の処分】

後見人は、被後見人の財産を適正に管理する義務を負う一方で、被後見人を代理し、被後見人の財産を処分する権限が与えられています。

ただし、土地を売却すれば費消されやすいお金になったり、抵当権を設定すれば財産的価値が減少したりするので、むやみに処分することは相当ではありません。

### 【処分の必要が生じた場合】

被後見人の財産を処分する必要が生じた場合、後見人は、自己の責任において被後見人の財産を処分することになります。処分に当たっては、その必要性、より安全な方法の有無、被後見人の現在の財産額などを考慮して、被後見人に損害を与えないように注意する必要があります。万一、被後見人に損害が生じた場合、後見人は賠償責任を負います。

重要な財産を処分する場合で、後見人だけでは判断に困ることがあれば、事前に家庭裁判所に相談してください。その場合、事情によっては、処分しようとしている財産や処分の方法等について、家庭裁判所に資料等を提出していただく場合もあります。

なお、被後見人の自宅の土地、建物などの処分については、家庭裁判所の許可が必要ですので注意してください（Q9参照）。